

会場いっぱい力作ぞろい

第5回旭市文化祭

日ごろの文化活動の成果を発表しようと10月25日～11月3日まで、市内の各公民館などで文化祭が開催されました。各会場では、芸能発表や会場いっぱいに展示されたさまざまな力作が、訪れた大勢の人たちの目を楽しませていました。

▶展示された作品を興味深そうに見つめる来場者



小 中学校で食育調理実習

ちば食育ボランティア

小中学校の調理実習に出向き、食育活動を行っている食育ボランティアが11月6日、第一中学校の2年生と一緒にさんまの蒲焼丼を作りました。最初は生魚の調理に戸惑っていた子どもたちでしたが、食育ボランティアの指導を受けながらきれいに切り分けると、フライパンで香ばしく焼き上げたサンマを手作りのたれに漬けて、ご飯に盛り付けていきました。

子どもたちは自分の作った料理の味に「臭みもなく香ばしくておいしい」と、満足げでした。

▶サンマの香ばしい香りに生徒もにっこり



メ タボとさよなら楽しく学ぶ

健康づくり講演会



◀電子レンジを使った野菜の調理方法を説明する村上さん(右)

管理栄養士で料理研究家の村上祥子さんを講師に招き10月27日、飯岡保健センターで健康づくり講演会が開催されました。

村上さんは、私生活の中での楽しいエピソードを交えながら、食生活や野菜の大切さなどを講話し、会場からも絶えず笑い声や拍手が沸き起こっていました。また講演後は白衣に着替え、ステージ上で電子レンジを使った簡単野菜料理を実演。試食に参加した人たちは、「おいしくて簡単、今晚のおかず早速取り入れます」と張り切っていました。

子 ども力士もまわし姿で奉納相撲

黒虎相撲



◀観客の声援を受けながら、夢中で相撲を取る少年力士

江戸時代から伝わる伝統の黒虎相撲が11月3日、袋田神社で奉納されました。

青年団によって作られた手作りの土俵では、青年団正副団長らによる不知火型、雲竜型の土俵入りが披露されたほか、地元の子ども力士22人や青年団力士など8人による勝ち抜き戦が行われ、訪れた家族や観客から大きな歓声が上がっていました。

し なる長竿 銀鱈が躍る

恒例となった秋のヘラブナ釣大会が袋東ため池と長熊釣堀センターでそれぞれ開催され、県内外から大勢の釣り愛好家が集まり釣果を競い合いました。

〈大会結果〉上位入賞者(敬称略)

袋東ため池(10月27日)／1位:土屋清滋(成田市)、2位:森戸 睦(旭市)、3位:三浦俊六(神栖市)

長熊釣堀センター(11月3日)／男子の部:八本一成(旭市)、女子の部:福田三枝子(八千代市)、子どもの部:八本光司(旭市)



▲暴れる魚の動きに合わせ竿を操る

見 事な菊花にうっとり

第59回旭市菊花大会

11月1日から15日まで、中央児童遊園で菊花大会が開催されました。59回を数える伝統ある大会で、さまざまな種類の菊は、毎回多くの人たちの目を楽しませています。鑑賞に訪れた人たちは、丁寧に作られた菊に見とれ「きれいだね」と感嘆の声を上げていました。なお、大木正夫さん（井戸野）の盆栽が、千葉県知事賞を受賞しました。



◀ 手入れの行き届いた菊に見入ったり、写真を撮ったりする人たち

和 やかな中にも真剣な勝負

第5回海匠地区障害者スポーツ大会



▲ 魚釣り競走で、磁石の付いた竿を慎重に操る選手たち

10月31日、総合体育館で旭市、鉾子市、匝瑳市の身体障害者福祉会、聴覚障害者協会の会員など120人が参加して、スポーツ大会が行われました。パン食い競争や輪投げなどの個人競技、カローリングなどの団体競技を行い、スポーツを通じて交流を深めました。

干 潟八万石の大空を舞う機影

模型飛行機フリーフライト 日本選手権

11月1日、2日に干潟地域の萬歳地区で、模型飛行機フリーフライトの日本選手権が行われました。小型エンジンやゴムによる動力で模型飛行機を上空に放ち、無操縦で規定の時間を飛び続けることができるかを競うこの競技。種目は動力の違いによって3つに分かれます。どの種目も飛行機の微妙な調整や風の影響でタイムが大きく変わるため、選手たちはわずかに変化する気温を計器で感知し、気流の変化を読み取ると絶妙なタイミングで空へ向かって飛行機を飛ばしていました。



◀ わずかに風が強く吹いた瞬間を逃さず、飛行機を空へ放つ選手

経 済産業大臣から表彰

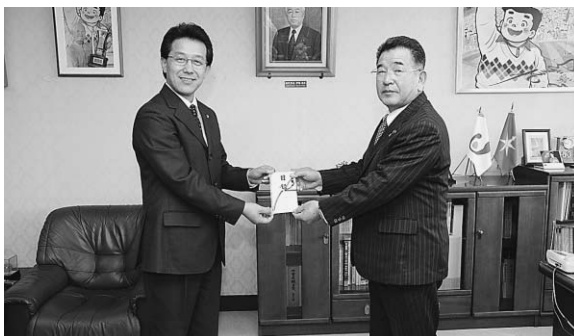


▲ 全国大会にラジコン型で出場した保坂隆博さん（右・3年生）、自立型で出場した高岡幸平さん（左・1年生）

東総工業高校の生徒2人が11月14日、横浜で行われた全日本ロボット相撲大会高校生の部に自立型とラジコン型、それぞれの競技に出場しました。生徒たち自身が設計やプログラミングを行い、相手のロボットに勝てるように創意工夫された機体を製作しました。大会は残念ながら敗退してしまいましたが、自立型ロボットの精度が評価され、大会内で最も技術的に優れているとして、経済産業大臣賞を受賞しました。

防 犯灯で犯罪を抑制

社会貢献の一環として防犯灯を設置し、犯罪を減らそうと11月4日、東京電力株式会社成田支社から防犯灯が寄贈されました。市では、市民の皆さんが犯罪に遭わないように、暗い場所に設置して犯罪を抑制することを目的とします。



◀ 市長に目録を渡す鉾子営業センター所長（左）